



あらうみがわりゅういき
6. 荒海川流域

この地域は、成田市の中央部に位置する荒海川のほぼ全流域を含んでいます。荒海川沿いは水田が細長く広がり、その両側に丘陵地が接する谷津田が特徴的です。丘陵地は樹林地や畑地、工業団地、ゴルフ場として利用されています。荒海川の水辺には、マコモやオギなどが生育しており、水田周辺には水田雑草群落、丘陵地にはスギ・ヒノキ植林や落葉樹の群落が分布しています。

水辺が丘陵地に接した環境であり、樹林地に接した水辺を好むトンボやチョウの仲間が多く生息しています。また、水田で鳴いているシュレーゲルアオガエルや水生昆虫であるガムシの仲間もよく見られます。サギやカモの仲間、ホオジロの仲間など草地を餌場などに利用する鳥類が多く見られます。樹林地ではコゲラやシジュウカラなどが群れで移動している姿を見ることが出来ます。畑地や畦ではモグラ塚も見られます。



オギの群落がきれいな西和泉橋周辺



谷津田と斜面林



ウラギンシジミ



道が狭くなり樹木がトンネル状に



いずみ聖地公園



公園内に咲くハス



急勾配の坂道

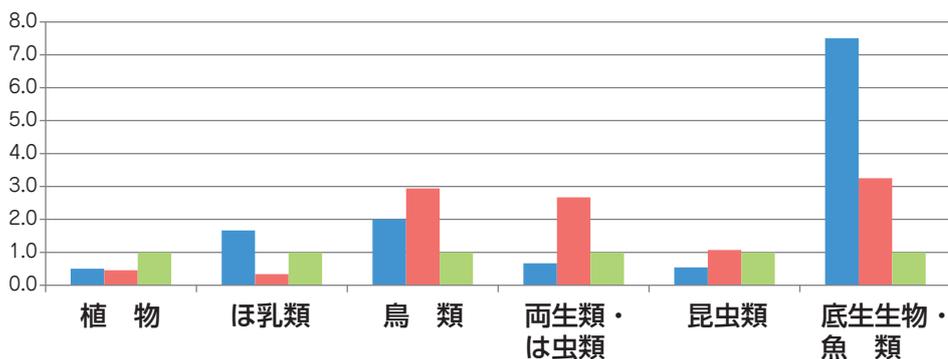


凡例

- 自然観察ルート
- 写真撮影ポイント

この地図は、国土地理院の電子地図25000『成田』、『成田空港』、『下総滑川』を使用したものである。

確認種の推移



■ 第1次調査
■ 第2次調査
■ 第3次調査

第3次調査時の確認種数を1.0とする。

第1次調査：平成5・6年度に水辺調査、平成7・8年度に陸域調査
第2次調査：平成14年度に水辺調査、平成15年度に陸域調査
第3次調査：平成26・27年度に動植物生息調査